

オープニング

みんなで歌を・・・「夏の思い出」(作詞:江間章子・作曲:中田喜直)

1部

(初) 川野真誉

TSUNAMI(桑田佳祐)

神奈川県湘南の海を思い浮かべながら演奏します。

神田英子

メヌエット(パッハ)

ワルツのような軽やかなリズムですが、なかなか難しいです。
ドタバタしないように、やわらかく弾けたらと思っています。

(初) 藤田貴子

黄昏のワルツ(加古 隆)

フィギュアスケートのBGMが流れていました。美しい曲…、何という曲かな？

こんな曲弾いてみたい。NHK人間ドキュメントのテーマ曲です。

楽譜を手にして無理かな…？でも弾いてみたい！！その一心で頑張ってきました。

鳥崎英子

夜想曲 第20番 嬰ハ短調「遺作」(ショパン)

映画「戦場のピアニスト」で演奏されました。

大谷弥恵

Tarantella(S.Heller)

不得意な6/8拍子、挑戦したいと思います…

山中美津子

夢想(ドビュッシー)

ドビュッシーが28歳の時に作曲したものです。夢の中にいるような穏やかで優しい旋律は、調性感がありますが、ドビュッシーならではの和声も感じられます。

橋本明日香

ソナタ第16番イ短調(シューベルト)

1825年ウィーンで作曲し、ルドルフ大公に献呈されている。のだめカンタービレでご存じの方も多はず。

2部 アンサンブル

歌:久本利江

海子の愛(作詞:岩谷時子・作曲:弾厚作)

ピアノ:伊藤恵美子

朗々とした大人の表現ができればと思います。

ピアノ:池永真佐子

ノクターン(作詞:史香・作曲:ショパン・編曲:椎名邦仁)

少しドラマチックに人の思いを出せればと思います。

連弾

2台のピアノのためのソナタ 二長調 第1楽章より(モーツァルト)

ウィーンでピアノ教師をしていた頃の弟子の一人アウエルハンマー嬢と共演するために作曲された。しかし、彼女の自分への好意、容姿を嫌ったモーツァルトが、連弾ではなく2台のピアノを用いたとみる向きもある。「のだめカンタービレ」で知名度が上がった。

池永真佐子・福西千津

連弾

伊藤恵美子・植野章子

英雄ポロネーズ(ショパン)

ポロネーズは、ゆっくりした舞曲で、はじめは州知事達が王の前を重々しく荘重なリズムで歩く曲だった。

聴いたことのある曲として安易に決めたが、内容は難しく、のびやかに、堂々と、その上華やかにと指示されても最後までもたついてました。

連弾

池永真佐子・大塚由紀子

“ありがとう”ピアノ連弾 いきものががり

NHK朝の連続ドラマ“ゲゲゲの女房”の主題歌として、おなじみの曲です。美しく優しい旋律で、心にさわやかな風を感じる曲です。ピアノ連弾バージョンで、歌とはまた違う“風”を感じてください。

連弾

伊藤恵美子・丸山節子

パリのアメリカ人(ガーシュイン)

この曲は、オーケストラの作品をコンパクトに編曲したものです。パリの町の様子、クラクションの音など、いろいろな音がピアノで表現されていて、とても楽しい曲です。特にTempo Bluesで流れるメロディーは、ガーシュイン特有の美しさがあります。

サクソ:谷川 修
ピアノ:小枝

黒いオルフェ(ルイス・ボンファ)

夏なのでボサノバの曲を選びました。

1959年『黒いオルフェ』フランス、ブラジル、イタリア合作映画に使用された曲。

サクソとピアノ(小枝さん)でお届けします。二人ともボサノバ初挑戦です。

3部**小枝 順****アラベスク第1番(ドビュッシー)**

1888年頃作曲、ドビュッシーがローマ賞第一等を受賞し、イタリア留学から帰ってきてすぐに作曲されたと言われる初期の作品。アラベスクとは、つる草のような優美な植物が絡み合った唐草模様を指し、音楽やバレエにも取り入れられた言葉。好きな作曲家ドビュッシー生誕150年という事で選曲しました。

福永奈々**波のアラベスク(三善 晃)**

「海の日記帳」という海の生き物をモチーフにした曲集からの一曲。冒頭は静かにゆれる波、中盤から徐々に激しくうねり荒々しくなり最後はまた優しい静かな海に…初めて邦人の曲に挑戦。全音階などベートーベンやショパンにはない音階も登場します。そんな不思議なメロディーもお楽しみ下さい。

(初) 丸山節子**子犬のワルツ(ショパン)**

かわいい子犬がシッポを追いかけている曲ですが、私が弾く子犬は、フローリングの床の上で子犬がシッポを追いかけているのを想像して下さい。

植野章子**「謝肉祭」の中から ワルツ、再会、散歩(シューマン)**

去年、たまたま入った美術館の無料コンサートで、この曲を聞き、一度弾いてみたいと思っていました。難しくて弾くのがやっと！で、表現までは行きませんでした。自分の中ではベネチアのカーニバル???

馬場由起子

アンダンテ・カンタービレとプレストアジタート(メンデルスゾーン)

去年2度、目の手術をした後、気持ちが悪落ちてしまい、ピアノを弾く意欲がわかなくなりました。そんな時に、たまたま聴いたメンデルスゾーンのCDに心が惹かれ、特にこの曲は、またピアノを弾きたいと思うきっかけになった穏やかなメロディーで始まり、途中からは速い3連符の連続のメロディーに切り替わります。長くて聴いていてしんどいと思いますが、どうぞちゃんと息をして気軽にお聴きください。

大塚由紀子

エチュードOp.10No.5黒鍵(ショパン)

1833年、ショパンが23歳のときに発表された、12の練習曲作品10の5番。黒鍵という通称があるように、右手の主旋律のほぼすべてが黒鍵によって演奏されます。ただ一音、第66小節の2拍目のヘ音だけが白鍵です。速いテンポで、かつショパンらしい美しさを表現することが目標です。

池永真佐子

6つの小品Op.118-2間奏曲(ブラームス)

最晩年、お気に入りだった避暑地で小品集が書かれた。独特の和声調和や詩的内容の凝縮を試みた小品集の中でも、この第2曲間奏曲は、かつての若かった自分を懐かしむような穏やかな哀愁に満ちた旋律が心に残る作品。

みんなでアンサンブル

おおきな古時計(作詞・作曲:ヘンリ・クレイ・ワーク)

1876年に発表されたおなじみの曲。今日は、みんなでアンサンブルを楽しみましょう。

大きな古時計

おおきな のっぽの ふるどけい おじいさんの とけい
ひやくねん いつも うごいていた ごじまんの とけいさ

おじいさんの うまれた あさに かってきた とけいさ
いまは もう うごかない その とけい

※ひやくねん やすまずに チクタクチクタク
おじいさんと いっしょに チクタクチクタク
いまは もう うごかない その とけい

なんでも しってる ふるどけい おじいさんの とけい
きれいな はなよめ やってきた そのひも うごいていた

うれしい ことも かなしい ことも みな しってる とけいさ
いまは もう うごかない その とけい

※ひやくねん やすまずに……

てんごくへ のぼる おじいさん とけいとも おわかれ
いまは もう うごかない その とけい(2回)